

虞美人

N
T
R



R-18

虞美人を召喚することに成功するも、

すでに項羽も召喚済みなぐだ男。

当然の権利の如く、毎日虞美人が

いちやつくのでイライラが

MAXになっていた……。

ぐだ「おのれ……簡単に召喚に

応じたと思ったらこれが目的か……」

ぐだ「令呪を持って命ずる……

虞美人よ、しばらく眠れッ……!!」

虞美人「ん……!? 眠気が……」

バタッ



触手に絡まれている夢を見ている虞美人、
実のところろひたすらクンニをされているせいで
そういう夢をみている……。

虞美人「あぁっ……あああああぁぁっー❤」

ぐだ男(派手にイッたのにそれでも寝てるとは……
令呪三画の効果だけあってすごいな……)



虞美人「ああ……項羽様……

どうか……どうか
わたしを……」

ぐだ 「良い夢を見ている

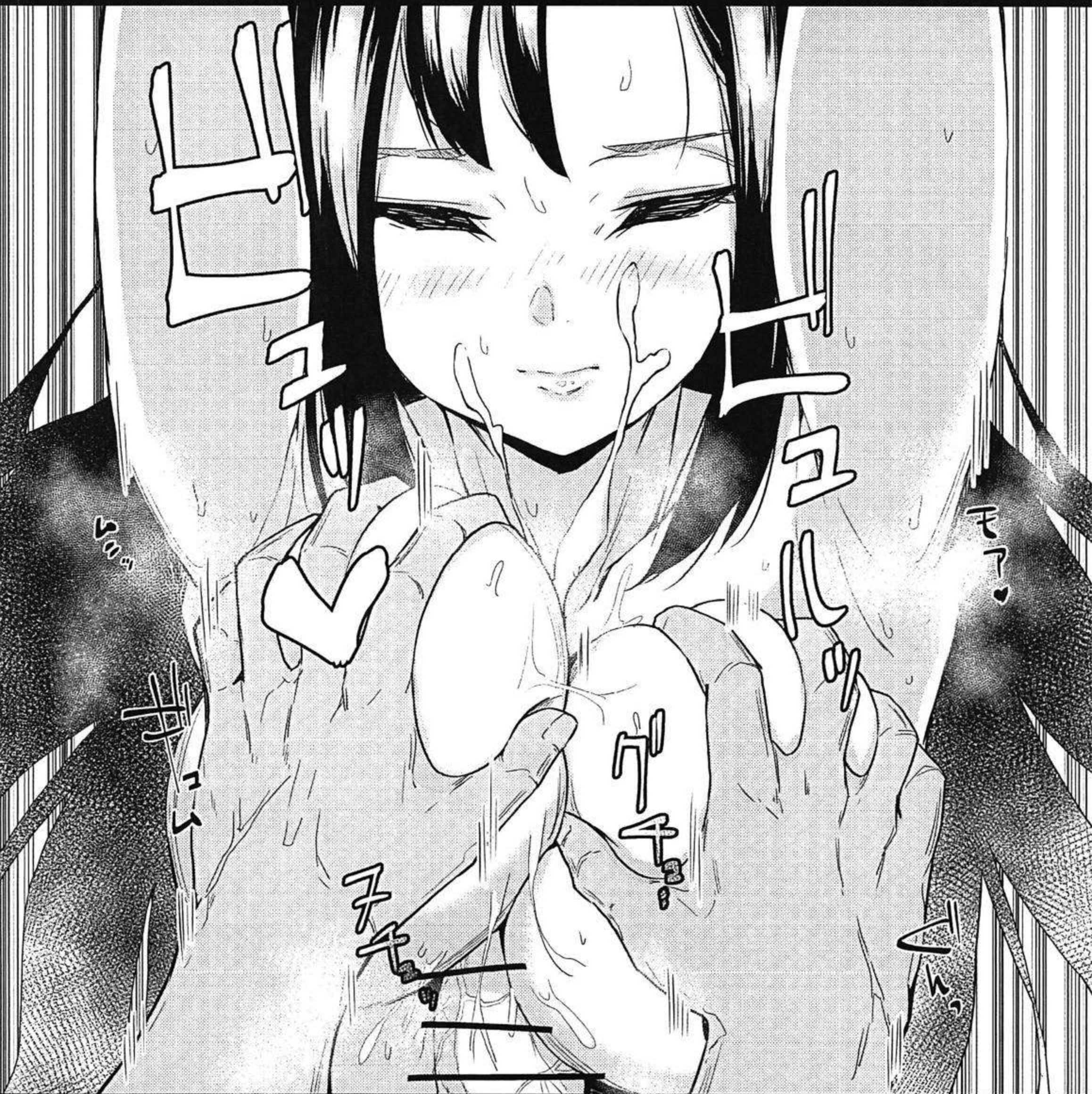
ようだが……
そろそろ起きて
もらわないと……
興覚めだな！」

そう言うときぐだ男は自分の
イチモツを虞美人の胸に挟
み、持参していたローション
を使ってパイズリを始めた。

ぐだ 「随分とお疲れのよ

うだし……ササっと
済ませておきますか」

そして大量のザーメンを
虞美人の上半身に発射した。



虞美人「……ッ……あっつ……」

顔に熱いものを感じ、目を覚ます虞美人。

虞美人「ああ……項羽さ……ま……?」

一度射精したにも関わらず、憤りのおさまらないぐだ男は第二ラウンドへと突入しており、激しく腰を打ち付けている。

虞美人「はああああああ!?

なんであんたが!?

何してのよ!!」



一時間後……

虞美人「おッ♥おッ♥」

ぐだ (全然抵抗しなくなっちゃったな……やはりご無沙汰なんだろうか……)

虞美人(こんな粗チンに負けるはずないのに……
ないのにいッ……♥)



数か月後。。。。



虞美人「ほら。。。今日も魔力をちようたい。。。」

ぐだ（あれから毎晩のように求めてくるけど
項羽殿は大丈夫なのだろうか。。。）

虞美人「人の姿の人あらざる者に安息の

場所などない。。。ずっと思っていたわ。

こうしてサーヴァントになるまではね。

この先にどんな運命が待つにせよ、

今この瞬間に感じた憩いを、

私は永遠に忘れないでしょう。。。」

誌名：虞美人NTR

発行：楽園ティラミス

発行者：こぼ

発行日：2019/03/10

mail：Rakuen_tiramisu@yahoo.co.jp

Twitter 作画担当 @cobo_0609

原作担当 @mojipooh777

奥付

※18歳未満の所持及び観覧を禁止します。
無断転載、違法アップロードは禁止です。